

〈現場研集会〉東芝ロジスティクス㈱ 南関東支店（川崎倉庫）

東芝グループにおける『ホワイト物流』への取り組み

1. 日 時： 2020年2月13日（木） 13:00～16:30
2. 訪問先： 東芝ロジスティクス㈱南関東支店（川崎倉庫）
（川崎市川崎区池上新町3-1-3）

東芝グループ会社の計 27 社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、活動を推進しています。

当社は、東芝グループ内で唯一ロジスティクス機能を専門に提供している企業であり、物流現場で深刻化している人材不足への対応として、**ドライバー視点の改善を起点とした全体的な生産性向上に取り組む**ことで**待たせない物流センター**へと体制作りを行っています。

物流を取り巻く大きな環境変化の中、IE活動とロジスティクスを結びつける現場をご紹介します。

◆ ホワイト物流とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とし、[1]トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、[2]女性や60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です。

*国土交通省 HP-報道発表資料より (https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000181.html)

◆ ポイント ◆

■ 商流連動の庫内運営（庫内生産性向上の取り組み）

- ・ 「WMS（倉庫管理システム）」により、注残情報に基づいた倉庫計画や荷役作業計画を構築
- ・ 出庫時間から逆算したスケジュール管理、バース（荷積・荷卸場）でのトラック待機時間を最短にする庫内作業改善の仕組み（後引き思想）

■ 家電プラットフォーム拠点構築による輸送レス・ムダの削減

- ・ 家電プラットフォームの共同倉庫として、メーカーと量販店の在庫を同居させ、メーカーから量販店への1次納品が、倉庫内で完結することで無駄な輸送を削減
- ・ パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナなど、輸送ツール活用により、ドライバー負担の軽減およびトラック荷役・積載効率の改善

■ 製品群に対応した格納効率・ピッキング効率の向上

- ・ 中小製品から大型家電までを扱う倉庫として、製品スケール、作業効率などを勘案したピッキングの効率化
- ・ フロアごとに機能を設定し、改善を行うことにより格納効率向上・搬送ロス削減

■ 物流現場への技能実習生受け入れスキームの構築

- ・ 物流現場では、事例の少ない技能実習生の受け入れを実施。実習生の受け入れスキームを構築

	日本 IE 協会 および 他地区 IE 協会会員	日本生産性本部 賛助会員	一般	
参加費	18,000 円	23,000 円	28,000 円	* 定員 40 名 * 1 名様分／消費税抜き価格 * 同業の方はお断りする場合があります

- 申込方法 ① 裏面の申込用紙に会社名、所属、役職名、氏名、所在地、TEL・FAX 番号、電子メールアドレスを記入の上、FAX またはメールにてお申し込み下さい。
その際、派遣責任者の方も記載いただければ、その方に参加書類を送付いたします。
- ② お申し込み受け付け後、集合案内、請求書を郵送いたします。
開催日 1 週間前よりキャンセル料が発生しますので、代理の方をご派遣下さい。

申込先 日本 IE 協会（略称）担当：大塚（おおのし）、菅野
WEB：http://www.j-ie.com Mail:jiie@j-ie.com

TEL:03-3511-4062 FAX:03-3511-4069

注意事項 *同業、コンサルタントの方につきましては、参加をお断りする場合がございます。

